

2006 年度

科目名 幼児教育学Ⅰ (教育課程総論を含む)	対象学科・学年 文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生	担当者 桜井智恵子 長瀬 美子
授業テーマ 幼児期を知る、幼児期の教育の特質について考える		
授業の概要と目標 教育するには、その対象と構造を十分に理解しなければなりません。本講義は、幼児を導く方法（教育・指導）について考えるために不可欠な幼児（期）についての理解を深め、教育課程全体における幼児教育課程の位置づけと特徴を考えることを目的としています。 講義全体を、①幼児期の固有性と重要性の理解、②教育課程の構造と特徴、そこにおける幼児教育課程の位置づけの理解、③幼児教育のあり方の考察の三つに分けて考察していきます。		
評価方法 ・学期末に行う試験（論述式）によって評価します。 ・授業時間の提出物（レポート等）は、評価の際に考慮します。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 講義時に紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 第 1 回 オリエンテーション 「幼児教育学」で何を学ぶか 第 2 回 いま、子どもは（1） 幼児の「からだ」 第 3 回 いま、子どもは（2） 幼児の家庭・地域生活 第 4 回 家庭の変化 第 5 回 子どもの変化 第 6 回 幼稚園の現在－少子化と早期教育 第 7 回 幼稚園のこれから－総合施設、民営化など 第 8 回 教育課程の構造（1） 教育・教育課程全体の構造について 第 9 回 教育課程の構造（2） 幼児教育課程の特徴と位置づけ 第 10 回 幼児教育の目的と方向性 幼児教育、幼稚園教育の目的は何か 第 11 回 幼児教育の基本原則（1） 「環境」を通して行なう教育 第 12 回 幼児教育の基本原則（2） 「主体性」の重視 第 13 回 幼児教育の基本原則（3） 「総合」的な活動（あそび）の中での発達 第 14 回 幼児にふさわしい教育とは 第 15 回 まとめ		